

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.12

担当 課名 健康福祉課

グループ名 健康増進グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	精神保健福祉事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別			
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)	①会計区分	一般会計		
②大項目	保健・医療	②財源区分	県補助		
③中項目	保健事業の充実	③予算科目	款	4	項
④施策	成人保健の充実	④予算事業名	精神保健福祉事業費		
⑤施策コード	5.2.2.3	掲載ページ	82	ページ	
(6)実施根拠		(7)総合戦略			
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令	精神保健福祉法 自殺対策基本法				
③事業期間	開始 不明 年 月 日から	終了	未定 年 月 日まで		

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
自殺死亡率(人口10万人当たり)については、令和2年度までは県と比較して高い状況が続いていた。町民の自殺予防に対する関心をより高められるよう普及啓発に努め、また専門医と相談できる機会を提供し、こころの健康の保持・増進を図っていく必要がある。	自殺予防普及啓発:啓発グッズを役場窓口や町公共施設等で設置、配布する。 こころの健康相談:精神科医による相談を年4回実施する。精神科医により、精神保健及び精神障害の福祉に関する相談・指導を行う。

(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
自殺予防普及啓発:町民 こころの健康相談:小川町に住所を有する、こころの病や障害を有している方やその家族	自殺予防やこころの健康に関する知識が普及できることが期待される。また、相談者とそれを取り巻く家族や地域環境の調整を図ることで、生活の自立や社会参加の促進、精神疾患の早期発見が期待される。		
対象数	28,046	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

自殺者数	自殺死亡率(人口10万人当たり)
令和2年度 5人	小川町(17.02)埼玉県(12.66)
令和3年度 3人	小川町(10.22)埼玉県(14.13)
令和4年度 3人	小川町(10.47)埼玉県(16.94)

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称 精神保健福祉事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	報償費	32	32	63	95	126
	需用費	148	139	127	125	132
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	180	171	190	220	258
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	88	84	94	109	129
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	92	87	96	111	129
	合計	180	171	190	220	258
(4)補助金名	自殺対策強化事業費補助金					
(5)人件費						
	投入職員数	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	年間人件費	2,315	1,528	1,526	1,508	1,539
(6)総事業費	2,495	1,699	1,716	1,728	1,797	
	サービス量(人)	2,258	2,211	2,142	2,128	2,129
	サービス単価	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8
	(単位)	千円/参加者1人当たり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標) 精神保健福祉事業費

指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	こころの健康相談実施回数	目標値	個	4	4	4
		実績値	個	2	3	
		達成率	%	50.0	75.0	
	精神保健相談対応(面接・訪問・電話)	目標値	人	200	200	200
		実績値	人	140	125	
		達成率	%	70.0	62.5	
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	自殺死亡率(人口10万人当たり) 目標値=埼玉県の自殺死亡率 ※達成率(%)=目標値/実績値	目標値	人	14.13	16.94	16.94
		実績値	人	10.22	10.47	
		達成率	%	138.3	161.8	
	こころの健康相談参加者数	目標値	団体	4	4	4
		実績値	団体	2	3	
		達成率	%	50.0	75.0	

(3) その他指標に現れない成果
 精神保健に関する相談窓口を広報に掲載することで、窓口へ直接相談に行くことが困難な単身世帯やひきこもりといった、支援が繋がりにくい方からの精神相談があった。

5 事業評価

評価項目		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()
公平性	受益者の偏り	1 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	1 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()
進捗度	事業の進捗	2 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()

(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)
 こころの健康相談やその他精神保健に関する相談については、安心して申込みが出来るように町保健師が丁寧な事前相談を行うとともに、家族との関わり方やふとした心配事等の簡単な内容から相談が可能といった、相談に対する敷居を下げられるように周知する。また申込みはあるが、相談者や当事者が当日都合がつかず、キャンセルとなることがあるため、相談者と綿密に日程調整を行い、相談に繋がられるように働きかけていく。自殺予防啓発グッズの配布については、どの年齢層に対しても興味を持ってもらえるようなグッズの種類、手に取りやすい設置場所を検討していく。

6 事業の方向性の判断 1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合

評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)	(3) 最終評価 (町長)
評価	2		
説明	自殺の実態を把握し、自殺予防の周知と啓発を図る。自殺に追い込まれる前の予防・早期発見のため町と地域におけるネットワークの強化に努める。		